

情報公開用文書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

西暦 2026年2月26日 作成

<p>■研究課題名</p>	<p>急性限局性細菌性腎炎（AFBN）における腹部症状と腹部CT所見の関連性に関する多施設共同後方視的観察研究</p>
<p>■研究の対象</p>	<p>2010年4月1日から2025年7月31日の間に、茅ヶ崎市立病院において、急性限局性細菌性腎炎（AFBN）と診断され通院または小児病棟に入院した0歳～20歳の患者さん、および腎疾患を有さずに腹部画像検査を受けた0歳～20歳の患者さんが対象です。</p>
<p>■研究目的・方法</p>	<p>本研究は観察研究です。対象者の診療録および画像データより、年齢、性別、主訴、検査結果、画像所見（腎障害の部位、腹膜炎の有無など）を匿名化した上で収集・解析します。特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。対象者数は他の施設の情報と合わせて全体で約1200名（AFBN群 600名、対象群 600名）を予定しています。</p>
<p>■研究期間</p>	<p>2026年3月10日 ～ 2030年7月31日</p>
<p>■研究に用いる試料・情報の種類</p>	<p>診療録および画像データより、年齢、性別、主訴、検査結果、画像所見（腎障害の部位、腹膜炎の有無など）</p>
<p>■試料・情報の取得と保管方法</p>	<p>茅ヶ崎市立病院のデータは、茅ヶ崎市立病院小児科内のパスワード管理されたパソコンに保管され、共同研究機関の情報とともに主任研究である東京大学附属病院小児科内のパスワード管理されたパソコンや施錠保管庫に保管され、研究終了後5年間保存されたのち、安全な方法で廃棄されます。</p>
<p>■外部への試料・情報の提供</p>	<p>主任研究である東京大学附属病院小児科に提供します。</p>
<p>■研究組織</p>	<p>東京大学医学部附属病院 小児科          研究代表者：神田 祥一郎（講師）          【その他の共同研究機関】：太田西ノ内病院 小児科、公立昭和病院 小児科、国保旭中央病院 小児科、埼玉医科大学病院 小児科、埼玉医科大学総合医療センター 小児科、さいたま市民医療センター 小児科、市立青梅総合医療センター 小児科、茅ヶ崎市立病院 小児科、焼津市立総合病院 小児科、横須賀市立総合医療センター 小児科</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1  
茅ヶ崎市立病院小児科 (研究責任者) 小田 洋一郎  
電話番号:0467-52-1111(代表) FAX:0467-54-0770